

プ ラ ザ

「第4回東京医科大学記念会館ポスター発表懇談会」開催  
The 4<sup>th</sup> Annual Poster Session at TMU Memorial Hall

平 本 正 樹

Masaki HIRAMOTO

東京医科大学生化学分野

平成29年2月24日（金）17時30分より、東京医科大学記念会館地下食堂において、第4回東京医科大学記念会館ポスター発表懇談会が開催された。

この会は、学内における学問的な交流の場をつくるため、石龍徳主任教授（組織・神経解剖学分野）の発案で始められた。「堅苦しくない」「発表準備に時間をかけない」をモットーに、すでに学会発表などで使用したポスターや、論文・著書のコピーなどを展示しながら、本学の教職員・研究者が懇談・情報交換することを目的としている。これまでの3回は全て、組織・神経解剖学分野が担当して開催され、基礎各分野の若手を中心に、普段は難しい交流の場として、分野間の垣根を取り払う貴重な機会となってきた。4回目の開催となった今年は生化学分野が担当し、今後は持ち回りで担当していくことになると思われる。

今回のポスターは74題（教養7、基礎医学49、医総研10、ナノ粒子先端医学3、臨床医学1、看護4）、参加者は118名（教職員93名、学生25名）となり、年を追うごとに演題も参加者も増え、盛会となってきた。今年は、臼井正彦理事長がお見えになり、開会にあたって、期待と激励のこもったご挨拶を賜った。その後は、ビール片手に賑やかな議論が始まり、他分野からの貴重なアドバイス、通常なら遠慮しがちなストレートな質問が飛び交っているように見受けられた。各分野の研究内容や研究技術をお互いに共有するだけでなく、多様な人材が上手く響き合うことで、思わぬ発展に結びつくような雰囲気が醸し出されていた。また、昨年を引き続き、修士課程大

学院生のための就活情報交換コーナーも設けられ、大学院生・学生にとっても、就職だけでなく、日頃の勉強や生活について、情報交換の場となっているようであった。

飲食を伴った和やかな雰囲気の中で、多種多様な



写真1 ポスター発表



写真2 就活情報交換コーナー

ポスターが並び、普段はあまり接することのできない異なる分野の世界に踏み込む、「知的好奇心が駆け巡る」有意義な会であった。今後とも、この会が継続的に開催されることは、東京医科大学の発展に

大いに寄与すると感じられた。

最後になりましたが、この会の開催にご協力いただきました、組織・神経解剖学分野の皆様、医学科学務課、寺山土建ほか、関係各位に深謝いたします。